

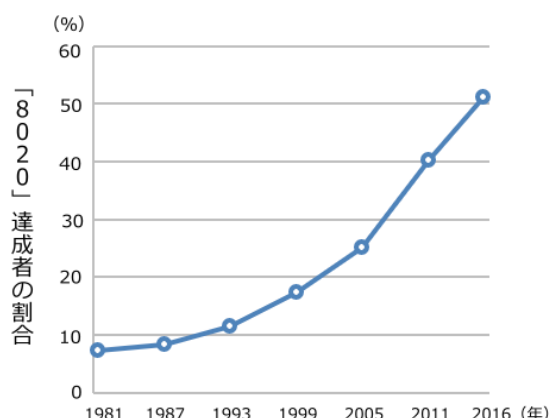
## 後期高齢者歯科健診 ～歯と口の健康から健康寿命の延伸を図ります～

### 1 目的

歯と口の健康は、食生活、栄養摂取などに影響を及ぼすことから、全身の健康状態と密接に関わっています。

80歳で20本以上の歯を有する8020達成者の割合は年々増加していますが、「噛む・飲み込む・話す」などの機能は年齢とともに低下する恐れがあることから、詳しい検査や治療によって口腔機能の維持向上を図り、全身疾患の予防につなげることが大切です。

このため、75歳と80歳の後期高齢者を対象とした「後期高齢者歯科健診」を新たに実施し、人生百年時代における健康寿命の延伸を図ります。



### 2 概要

現在、20・30・40・45・50・55・60・65・70歳の方を対象に実施している「すこやか歯科健診」の項目に、口腔機能評価（咀嚼、嚥下、舌・口唇機能）を加えた、「後期高齢者歯科健診」を新たに実施します。

- (1) 事業開始 令和5年4月
- (2) 対象 本市に住所を有する75歳と80歳の後期高齢者
- (3) 料金 無料
- (4) 内容 対象者には個別で受診券を郵送し、市内の歯科医院にて健診を実施



### 3 予算額

【新規事業】8,924千円

(内訳) 健診費用 @6,407円×1,050人=6,728千円  
受診券・健診票作成、システム修正等 2,196千円

### 4 県内の状況

令和4年度時点で、豊川市、刈谷市、江南市、大府市、あま市、岩倉市の6市が実施